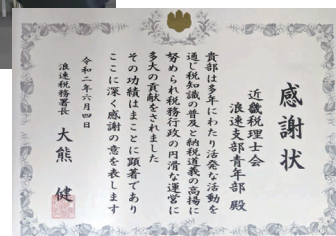


なみせいだより

第28号

発行所 近畿税理士会浪速支部青年部
〒556-0016 大阪市浪速区元町3-1-20 5F
☎ 06(6647)5605

発行人 西 本 毅
編集人 谷 祐 司



祝・入船



浪速支部青年部 —つながる—	西本毅 (2)
ご寄稿「迷惑生物」	浪速税務署長 峨家譽之 (3)
一年を振り返って	西川弘晃・谷祐司・伊藤昌紘・夫馬竜司 (4)
定期総会	古川貴博 (5)
伝言板	(5)
歴代青年部長に聞きました	(6)～(8)
青年部冬季意見交換会に参加して	富井瞳 (8)
ご臍盾に！—私のお勧め—	伊藤昌紘 (9)
入船！ 皆さん、よろしく	中辻義則・前田卓哉・正木由紀 (9)～(10)
卒船！ お疲れ様でした	猿木真紀子・前田尚宏・野垣匡伸 (10)～(11)
令和元年度青年部活動だより	(12)
編集後記	(12)

浪速支部青年部

—つながる—



青年部長

西 本 毅

平素は、浪速支部青年部の活動に格別のご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。また、9月には、第25回青年部定期総会を、コロナ禍の中ではありますが、出席をご辞退いただくなどして少人数のなか無事開催することができました。これもひとえに会員先生並びに支部会員の諸先輩方のご理解・ご協力の賜物と改めて厚く御礼申し上げます。

ご承知のとおり新型コロナウイルス感染症の影響を受け、青年部の活動も制限され、私自身も楽しみにしていたファミリーレクリエーションの開催を延期（中止？）しております。7月下旬からはじまっているGo toトラベル事業がスタートし、観光業界も賑わってきております。ビジネスやライセンス取得のための旅行は、上記事業から除外する動きもあり、施策内容に賛否はありますが、人が動き、お金も動き、注目度はかなり高いように思います。一方、中国経済が復活し、自動車生産も急回復するニュースが流れるなど、経済活動も動き出し、青年部活動もそろそろ動き出せるのかなと様子を伺っております。しかし、冬に向けて気温が下がると、大方の事前予想のとおり、北海道、東北地方など、新型コロナウイルス感染者が徐々に増加してきております。日々のニュースで流れる新型コロナウイルスの感染者数は上下し、今後も予断を許さない状況です。学校生活も始まり、修学旅行も再開され、マスクに手洗いのwithコロナの日常となり、ファミリーレクリエーション

もそろそろ行ける!! と思ったりもしますが、役員の先生方と話し合いながら、今のところはまだ白紙ですが、企画をご報告できた際には、是非ご参加ください。お待ちしております。

今回の「なみせいだより」の紙面には、青年部を立ち上げられた辻本先生・大野先生・藤原先生に25年前の当時の様子をインタビューさせていただきました。「なみせいだより」創刊号の大野先生のあいさつに、「浪速区という場所に、同じ税理士として業を営むこの「縁」の不思議、この「不思議」を大事に、大切にしていくことこそが、我々「浪速支部青年部」の存在のベースである」とあります。当時のお話を伺う中で、みんなが気軽に話し合える会、そしてみんなが成長でき、ひいては、浪速支部も盛り上がる、当時の先輩先生方の熱い思いをあらためて再確認いたしました。新規会員は、なかなか増えませんが、気軽に参加でき、フラットな形の、そんな青年部活動をあらためて引き継いでいかねばと感謝と責任を感じた次第です。

最後になりましたが、会員先生並びに支部会員の諸先輩方からの変わらぬご厚情に心から感謝申し上げます。





近畿税理士会浪速支部青年部の皆様には、平素から税務行政全般にわたりまして、深いご理解と格別のご支援並びにご協力を賜っておりますことを、この紙面をお借りしまして心から厚く御礼申し上げます。

本年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、私共もかつて経験したことのない環境の中で署務を行っているところでございます。

被害を受けられた方にお見舞い申し上げますとともに、一日も早くこの事態が収束することを願う次第でございます。

大変な状況下ではありますが、来年は東京オリンピック、2025年にはこの大阪で日本国際博覧会が開かれるという明るい話題もあり、多くの方が訪れて賑わえばよいなと思っております。

さて、「なみせいだより」への寄稿にあたり何を書かせていただこうと思いましたが、元来、私は無趣味でありまして、自慢できるようなものが何もありません。

そこで、最近読んだ本の中で印象に残った書籍をご紹介します。

「カサウしろに振るやつ絶滅しろ！ 絶滅してほしい!? 迷惑生物図鑑」というタイトルの本です。

ニュース番組で紹介されていたことがきっかけで、自身を戒めないといけないという思いもあり読んだ書籍です。

いくつかご紹介させていただきますと、(表現が汚くなりますが)

●横一列で道をふさぐやつは「トオレヌー：大きな群れをつくり、歩道を横一列に広がって大移動する習性がある。おしゃべりが大好きで周囲を気にしない 生息地：狭い道の上、分類：マワリミエテンノ科」
ヌーはサバンナに大群で生息しており、雨季と乾季の間には数万頭でまとまって片道400km以上の大移動をするそうです。

●価値観をおしつけるやつは「カチカンガルー：自分と価値観の違う他人に対し、「人生半分損してるよ」など言葉のパンチを繰り出すカンガルー 生息地：学校、職場、SNS 分類 ヒトソレゾレジャナイ科」だそうです

(「カサウしろに振るやつ絶滅しろ！ 絶滅してほしい!? 迷惑生物図鑑」(小学館)より/©CHOCO LATE Inc.)

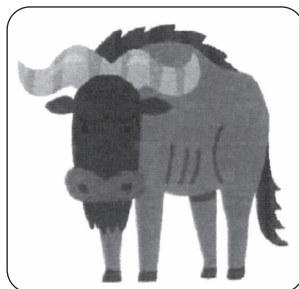
そのほか、キキナガスクジラとかアゲアシトリケラトプスなど、読んでいる私もドキッとする部分が出てきます。

私も生を受けて50数年になり、子供の頃から比べるとだんだん怒られることが少なくなってきました。

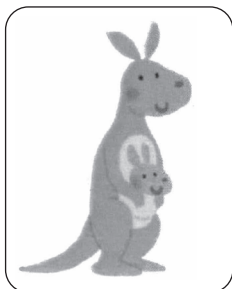
社会全体も「注意したら逆切れされる」とか「嫌われるのを避ける」という風潮があるのかもしれない。

今回の書籍との出会いは、自身を戒める良い機会になったと思っています。

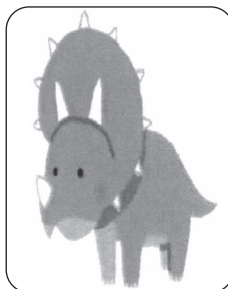
なお、私は、筆者の方や出版社とは関係がありませんことをお断りして結びにしたいと思います。ご高覧ありがとうございました。



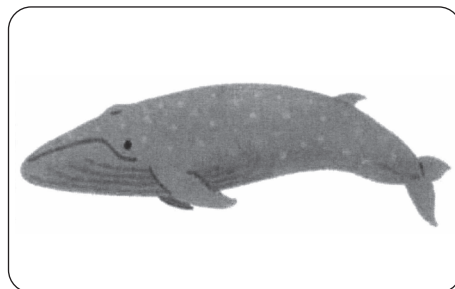
(ヌー)



(カンガルー)



(トリケラトプス)



(シロナガスクジラ)

浪速支部青年部

一年を振り返って



総務委員長

西川 弘 晃

昨年の定期総会の拝命よりようやく1年が過ぎました。コロナ禍でファミレクが中止になったのは残念です。3月までは準備をしておりました。自粛期間、第二波の影響により中止せざるを得ませんでした。ですが、なみせい、昨年の冬季意見交換会の行事は、たくさんの先生方のお力添えにより勤めあげることができました。誠にありがとうございます。

総務委員長は3期5年目です。残り1年間、西本部長のサポートを精一杯尽力いたします。

浪速支部の先生方には、たくさんのご寄贈を頂き本当にありがとうございます。青年部の行事に是非ご参加いただくことを心待ちにしております。

最近の青年部の行事は若い先生方が積極的にご参加頂いております。ご参加頂いた先生からは気軽に参加できると仰ってくださいました。支部行事に参加しにくい場合は是非青年部行事からご参加ください。

次の定期総会まで浪速支部青年部総務委員長として微力ながら全力で全うする所存でございます。今後ともご参加、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



広報委員長

谷 祐 司

いつも原稿の御依頼をして申し訳ございません。昨年広報委員長に就任させていただきましたが、みなさんの後ろを右往左往し気付けば1年が経ってしまったというのが実感です。残り1年と折り返し地点となりましたが、首の差で遺漏なく広報の仕事を完遂させていただくことを目標に、今年中止となったファミレクが千倍返しで皆様の前に復活し、2年越しに「なみせいだより」に掲載できることを祈りつつ、日々健やかに過ごしていきたいと思います。



研修委員長

伊 藤 昌 紘

2017年より青年部の研修委員長を務めさせて頂いておりますが、今年は本当に大変な1年になりました。新型コロナウイルスの感染拡大防止により、3密を避けるため、多人数で集まる事ができない＝研修を実施する事ができない、という状況です。支部研修も開催できないまま年末を迎えます。

そこで私は考えました。

何とかZoomを活用して研修を実施できないか？



Zoomを使えない先生方もいらっしゃるのでは？



いっその事Zoomの使い方を説明する研修があっても良いのでは？

名案を思い付いたと喜んだのですが、Zoomを使えない先生方に対して、ZoomでZoomの使い方を説明する!?

誰か良い案があれば教えて下さい（汗）



厚生委員長

夫 馬 竜 司

令和元年に厚生委員長を仰せつかり、早一年が経ちました。この一年は「早かった」というよりも「何もせず過ぎ去った」という方が適切でしょうか。年末の令和元年冬季意見交換会の厚生事業を皮切りに事業活動が始まったものの、コロナ感染症の蔓延という未曾有の事態にファミレクの開催がどうなるのか、ヤキモキしながら開催されることを前提に計画を立案しておりました。結果的には、中止、ということで来事業年度に持ち越した感じです。

2年目のスタート、感染症への対策を打ちながら意見交換会、そしてファミレクと開催できればとの思いで再出発です。

◀ 定期総会 ▶



第25回 青年部定期総会 に参加して

古川 貴博

令和2年9月11日(金)午後3時半より、道頓堀ホテルにおいて第25回青年部定期総会が開催されました。時間ぎりぎりに会場に着いた私は、谷先生から本原稿の作成依頼を受けました。まだ受付してないのに、何て事を……。

議長と司会者兼任の金本先生が、余裕たっぷりに総会の開始を宣言され総会スタート。まずは青年部長の西本先生の素晴らしいご挨拶で始まり、広報委員長の谷先生、厚生委員長の夫馬先生、研修委員長の伊藤先生と続きました。どの委員長も流麗とした説明であつという間に終わりました。総務委員長の西川先生からは特別に詳しい会計報告を頂きました。『ファミレクが無かったので予算が余った』を何度も仰っておられたのが印象的です。そして、きつと厳しい監査を実施して頂いたであろう監事の鈴木先生より、適正に活動が実施された旨のご報告を頂きました。各委員長を務

められました先生方、本当に一年間お疲れさまでした。議事終了後、峨家税務署長様よりご祝辞を頂きました。峨家署長様をはじめ、お越し頂いたご来賓の方々、本当にありがとうございました。その後原支部長の締めのご挨拶を頂戴して、定期総会は無事に終了致しました。

今回の定期総会は、各先生方の自己紹介の時間も設けられ、この先生はコンな趣味が有るのか!? など、新たな発見が有ったのも楽しかったです。浪速支部、そして青年部バンザイ!



《ご寄付のお礼》

前第27号の本誌上におきまして当青年部運営のご寄付をお願いいたしましたところ、現在まで32名の先輩先生方を含め43名の皆様方より総計545,000円のご厚志を頂戴いたしました。ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

伝言板

《会員異動（前号編集以降）》

入 船／中 村 武 史	難波中1丁目13番8号 TMA税理士法人	☎6636-0882
正 木 由 紀	元町1丁目4番22-202号 児玉正己税理士事務所	☎6641-1156
中 辻 義 則	湊町1丁目3番1号 湊町リバープレイス6階	☎6567-9677

出 船／北 村 哲 郎 (住吉支部へ)
砂 原 健 太 (尼崎支部へ)
溝 口 咲 見 (港支部へ)

歴代青年部長に聞きました

令和元年9月にスタートしました西本青年部ですが、令和2年4月の爆発的に拡大したコロナ禍により主要な行事が次々と中止になりました。

「なみせいだより」もどのような形態で発刊すべきか悩みましたが、ここは初心を振り返る良い機会と考え、近畿税理士会浪速支部青年部の創設期を担った、3人のOB先生方に当時のエピソードなど、お伺いさせていただきました。

お忙しい中お時間を割いて頂きました先生方に御礼を申し上げます。

辻本元青年部長

辻本先生は、国道26号線に面した大きなオフィスビルの6階に事務所をかまわれています。突然のインタビュー申し込みにもかかわらず、快く招いていただき、暖かな日差しが入る午後、ゆったりした事務所の応接で当時のことを振り返りかえていただき、お話を伺うことができました。



辻本先生は、正式発足する青年部の前任部長で、梶田先生と篠田先生のお二人から引き継がれたそうです。当時の若手税理士は、太田支部長の時代に支部の厚生事業であるゴルフやソフトボール・バレーボールなど、行事参加者の中心だったので、集まるのは行事の都度くらいだったそうです。又、その時代の支部には辻本先生と同年代の方があまりいなかったそうで、青年部長を引き継いでもらえる人材がなかなかいなかったようで、困っていたそうです。数年後に大野先生や藤原先生が支部に入り、岩橋先生など若い先生たちが増え始め、大野先生に青年部長を引き継ぐ頃には、活動がだんだんと盛り上がり、青年部を同好会的な状態から、規約などを作って組織化した会を作ろうか、という話になっていったそうです。そして、辻本先生

を後見として、大野青年部長、藤原事務局長が就任、今に続く礎を築かれました。当時は、支部からの予算などはなく、先輩先生のところへ寄付を頂きにまわられたそうで、物心両面での応援を頂いたそうです。

①青年部の思い出

大阪球場でソフトボールの試合をしたことかな？プロ野球選手がプレイするあの球場でソフトボールできたのは楽しかったな～。ゴルフやソフトボールの後に、税理士として悩んでいた税務や会計実務のことを、飲みながら話し込んでいたら、お互いに悩みが一つ二つでてきて、月一回とか集まって会合をしていたような気がするな～。税務署の人とも今よりは会って話する機会は多かったね。

②今の青年部に対して一言

悔いのないよう好きなことをやったらいいと思います。けじめはつけないといけなと思いますますが、楽しんで活動してください。

大野元青年部長

大野先生の事務所は、南海難波駅よりエディオンアリーナへ向かう途中にあるビルの一室にあり、所内にはジャズがながれ、大きな窓からは光があふれていました。そんなゆったりとした空気が流れる中、おいしい珈琲をいただきながらお話を伺うことができました。



当時、支部の厚生事業である大阪球場でのソフトボール大会等に主力として参加していたり、ホテル南海・簡保センターで開催された研修会に参加していた若手税理士の活動をベースに、組織化したのが現青年部のスタートであり、発足当時から新生青年部は先輩先生方や、署の方からも温か

く迎えていただいたそうです。

「誰からも近く等しい距離にある青年部」これは平成7年発刊「なみせいだより」に大野先生が青年部長として寄稿された挨拶の一文です。

基本理念として、会員同士がフラットで親睦を深めあえ、気楽に参加できる場の提供を目指したそうで、役員を一期で交代（原則）するというルールも、皆でそれぞれ役割を担ことが、結果として全員で青年部を担うことに繋がるという考えがあったからで、それは、会員同士はフラットと言う考えを、具現化する目的があったそうです。

新しく支部に入会された若手税理士が青年部の行事に参加すると、いずれ支部の行事にも参加する、そのことが支部活動のさらなる活性化にもつながると考えられ、若手税理士の支部活動への入り口として、将来様々な役割を担い得るような人材育成の入り口としての存在になるように努力されたそうです。

①青年部長当時の思い出。

いまでは考えられないことですが大泉緑地でのファミレクバーベキューは大半が車で現地集合。また翌年の友ヶ島では天候不順による足止めの為、あわや孤島で泊るはめになりそうでした。

②今後の青年部に思うこと。

会員同士はフラットに距離感は等しく。自分の抱えている問題を気楽に話し合える参加しやすい場であってほしいです。組織に参加するのが嫌だと言う人もいるので、無理じいは出来ませんが、青年部が若手税理士会員の交流の橋渡しになっていけば良いと思います。小ネタ研修会や若手税理士の悩み相談室的のような、AI相談室に負けない青年部らしい企画をするのも良いのではと思います。

藤原元青年部長



藤原先生の事務所は国道26号線とエディオンアリーナの間に立つビルの3階部分に事務所を構えられておられます。今回お話を4階の応接室

で伺うことができましたが、お昼前におじゃましたものですから、藤原先生のお気遣いで、福岡の「田舎庵 小倉本店 鰻のせいろ蒸し」をご馳走して頂き、楽しいお話を聞かせていただきました。「なみせいだより」の4号から5号は規約の変更の記載が続き、6号では、機関誌「なみせいだより」の年一回の発行、定期総会の開催、定期総会・研修会の開催、レクリエーション行事の開催が明示され、「大幅に各種行事を集約して青年部会員の参加意識の高揚ができればと期待しています。」との一文が藤原青年部長の挨拶文にあります。当時の藤原先生は平成8年にお父様を亡くされ、自身の業務も多忙になる中でも、支部運営に若手税理士の発言力や存在感を増すための活動に腐心されておられ、その活動の一助が青年部活動だったそうです。

藤原青年部長の課題は、青年部を将来に向かって継続的に活動可能な会運営・組織にする事。青年部設立後、青年部所属の若手税理士が続々と支部運営業務の主力を担うようになり、又本業である税理士業務が多忙になる中、働き盛りの青年部所属年代の税理士にとって、青年部も支部も兼務するのは大変だったそうです。そこで思い切って支部研修会と重なっていた勉強会を縮小したり、定期総会と冬季意見交換会の2回にしたりと、青年部の活動を凝縮し、支部との両立ができる体制を目指したそうなのですが、大野先生から引き継いだ行事を縮小するのは申し訳なかったそうで、苦渋の中での決断だったそうです。

①青年部長当時の思い出。

当時は、支部活動、税理士業務が多忙になる中、青年部活動は大変でした。今思うと、よく体を壊さずに夜中まで“勉強会”をして、メロンブランデーも懐かしいですね、能く朝から仕事できたものだと思います。当時も青年部はインフォーマルな組織だったのですが、フォーマルな組織をワザと装って支部所属若手税理士の存在価値を上げることに腐心しました。

②今後の青年部に思うこと。

青年部の会員先生は支部活動と青年部活動とを兼務しているので大変でしょう。あんまり先輩に気を遣わずに、青年部単独、独自で活動をされた方が楽しいのではないかと思います。“じいさん”ばかり参加している会は面白くないでしょう？(笑)

青年部の活動は、継続することが大事です。組織が小さくなっていても良いと思いますし、設

立から20年以上たつのですから、逆に今までの呪縛から外れ、青年部はインフォーマルな組織であるという事を意識した方が、かえって活動しやすいのではないかと思います。

西本青年部長

辻本先生、大野先生、藤原先生、誠にお忙しいなか、突然のインタビューの申し出にもかかわらず、快く承諾くださり、貴重なお時間を割いて、お話を伺わせていただきまして、誠にありがとうございました。約25年前の青年部を創設された

当時のお話をお伺いできて、とても参考になりました。先生方の当時の熱い思いを感じることができ、とても貴重な経験でした、そして残念なことに、ここに記載できない話がインタビューのほとんどであり、なんて事を企画したんだと思ったりもしましたが、お酒の席で何うお話とも違い、ん～とうなりながら、点の記憶を線の記憶につなげて、当時を振り返っていただき、非常に有意義な時間でした。次回も青年部長インタビューの第2弾もできたらと思います。

青年部冬季意見交換会に参加して



富 井 瞳



令和元年12月11日、道頓堀ホテルにて青年部冬季意見交換会が開催されました。意見交換会開催の時には、新型コロナウイルスもあまり脅威に思われておらず、まさか、その数か月後に緊急事態宣言が発令されることになるとは思いもよりませんでした。年が明けてからは、通常の繁忙期の業務に加え、新型コロナウイルスの影響による経営の悪化により顧問先の融資や給付金対応に追われることとなり、通常の繁忙期を過ぎた後も慌ただしい日々を過ごしておりました。緊急事態宣言が解除されてもなかなか今まで通りの生活に戻るのには難しく、リモートでの懇親会や、少人数での懇親会など、年末の意見交換会で会食をしながら楽しく盛り上がっていた時間が遠い昔のように感じます。

こんな時ですので、意見交換会の楽しい時間を思い出して元気を出そうと思います。最初の乾杯のご挨拶を柏山先生にいただき、歓談中には、前方のスクリーンにて令和元年11月に浪速区租税教育推進協議会による税に関する作文表彰式の

一部で行われた寸劇「お父ちゃんへ感謝を込めて」が上映されていました。先生方の堂々とした演技はとても素敵でした。

年忘れクイズ大会では、浪速にちなんだクイズが出題され、グループごとに優勝者が決まり、最も多くの正解をされた先生に豪華賞品（酒）が贈呈されました。クイズの司会は夫馬先生、西本先生、谷先生のラグビー浪速代表の3名の先生方で、ユーモアたっぷりの進行で大変盛り上がりしました。どの先生がどの選手になりきっていらっしまったのかは未だ謎のままです。

レクリエーションの最中も先生方のお酒に対する熱意は素晴らしいもので、ビール、日本酒、紹興酒・・・様々な種類のコップが並んでおりました。しばらくは難しいかもしれませんが、浪速支部の皆様と楽しくお酒を飲む日を楽しみに、日々のお仕事を頑張ろうと思います。



ご 負 に !

—私のお勧め—



伊 藤 昌 紘

私のお勧めは、「和歌寿司」です。以前はご家族で、現在はご兄弟で経営されているカウンターのみのお寿司屋さんである。

ランチ・ディナーどちらで行っても、コスパ最高のボリューム感と満足感を得られる「お・デ・〇」に優しいお店である。

但し、前述のようにカウンターのみの為、西川先生・金本先生・伊藤の3人で行くとコロナ禍において最も避けなければならない「密・密」になる事、必至である（汗）

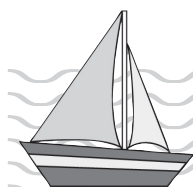
皆さんも行かれる際には、スリムな方とご一緒

する事をおススメします。

今回は西川弘晃先生よりよろしくお願い致します。

住所：大阪市浪速区難波中1-11-7

電話：06-6647-0339



入船！ 皆さん、よろしく



中 辻 義 則

浪速支部の先生方各位、初めまして。この度ご縁がありまして、大阪市浪速区湊町1丁目3番1号に事務所を開設いたしました中辻義則と申します。

私の事務所はなんばHatchのある湊町リバープレイスの6階です。コロナ禍の影響で現在もなんばHatchは休業中ですが、建物に入ると大音量で音楽がかかっており、音楽好きの私としては非常に心地よい場所です。

弊所は経営者様に寄り添った対応を心がけております。経営者様の意思決定に近い場所でサポートできるよう、税務会計だけでなく財務、その他

広く経営全般に亘ってのアドバイスができるようにスタッフ3名ともども日々研鑽を続けております。まだまだ未熟ものではありますが、浪速支部の先生方と良い関係を築かせていただきたく存じます。以後、よろしくお願い致します。



前 田 卓 哉

令和元年8月に浪速支部に入会させて頂きました前田卓哉と申します。

私はIT企業出身で、西支部の税理士法人に5年間お世話になった後、浪速支部にて開業させていただきました。

浪速支部に入会させていただき、一年ほど経過

しましたが、浪速支部の先輩方は気さくで優しく接してくださり、とても感謝しております。

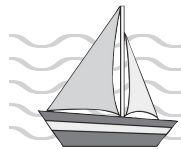
この原稿は令和2年7月に書いておりますが、今年は新型コロナウイルスの流行でこれまでになく我々税理士の支援が求められていると感じ、微力ながら自分にできることは何だろうかと考えています。この「なみせいだより」が発行されるころには少しでも状況が改善されていることを祈るばかりです。

最後になりましたが、まだまだ未熟者ですので、諸先輩方にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、支部の一員としてお役に立てるよう努力していきたいと思いますので、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



正 木 由 紀

こんにちは、はじめまして。令和2年3月24日に税理士登録を完了し、晴れて近畿税理士会浪速支部に入会することとなりました、正木由紀と申します。現在は児玉正己先生の下で税理士としての在り方を学びつつ、仕事をさせて頂いております。大学時代に税理士を目指し、7年かかってようやく税理士になることが出来ました。今は新型コロナウイルスの為、税務調査の立会いなど税理士らしい仕事はできていませんが、これまで以上に目の前の仕事を一つ一つ丁寧にこなして顧問先との信頼関係を少しずつ築けていけるよう努力していく次第です。まだ会員の皆様と顔を合わせてのご挨拶が出来ず残念ですが、これからも一生懸命職務に励む所存ですので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



卒業！ お疲れ様でした



卒 業

猿 木 真紀子

まだ早過ぎるのではないかと不思議に思われると思いますが、この度、青年部を卒業することになりました。

振り返れば入会当初、初めて出席した意見交換会の後だったと思いますが、二次会にお誘いいただき、カラオケで知らない人ばかりの前に出されて（と感じていました）、赤いスイートピー♪を歌った記憶があります。青年部会員として初々しくスタートを切ったのでした。その後も研修会、ファミリー参加レクリエーション、部会など、何かと声をかけていただき、いつの間にか溶け込んでいくことができました。面倒を見てくださった先輩先生方、ありがとうございました。私もシニアの部へ行きますので、よろしくお願いいたします。また、卒業前には青年部長として、少し背伸びをして大役にチャレンジする機会をいただき、皆さ



んに支えられながら貴重な経験をさせていただき
ました。本当にありがとうございました。これか
らも青年部でしかできない面白いことを続けてい
ただきたいと思います。

月日は流れ、とうとう卒業です。かねてより恒
例になっている卒業祝いの胴上げで、天井スレス
レまで飛んでみたい！という願いは実現せず残念
でしたが、綺麗なお花をいただきました。いつま
でも色褪せずにいたいものです。



コロナ禍での卒船

前 田 尚 宏

平成30年12月の『なみせいだより』で「入
船」として青年部に入会させて頂きました前田で
す。青年部在籍中は、なにも青年部活動には貢献
出来ずこの度「卒船」となること西本青年部長を
はじめ執行部の方々には大変申し訳なく思ってい
ます。また、このコロナ禍のタイミングで青年部
を卒業させて頂きまことは私にとって一生記憶
に残る思い出となりました。

以前、内海先生が青年部を卒業される際に投稿
されておられました青年部規約3条【目的】に
「・・・会員相互間における資質の向上、並びに
親睦を深めることにより、さらなる連帯を図るこ
とを目的とする。」の記載がありました。まさに
今、このコロナ禍の時代、来年以降日本経済はま
すます冷え込むと思われます。税理士が税理士と
しての真価が問われる時です。会員相互間で力を
合わせて乗り越えて行ければと思っています。

来年以降、会員先生並びに先輩先生方とともに
この【目的】が達成出来ますことを切に願ってい
ます。

最後になりましたが、これからの青年部のます
ますのご発展とご健勝ご多幸を祈念致しまして卒
船の挨拶とさせていただきます。

“コロナに負けず頑張りましょう！”



青年部の思い出

野 垣 匡 伸

卒船ということで原稿依頼を受けたのですが、
ここ10年ぐらいほとんど青年部行事に参加して
いないので、はっきり言って何を書いたらいいの
かわかりません（汗）。そこで、過去の記憶をた
どりながら、青年部の思い出について書くことに
しました。

まず初めに思い出すのは、開業したてのU S J
に行ったことです。アトラクションよりも昼食で
たらふく肉（おそらく牛タン）を食べたことが印
象に残っています。その節はごちそうさまでした。

次に思い出すのは、チンチン電車です。忘年会
だったと思いますが、天王寺から浜寺公園間を貸
し切りで往復しました。3密すぎてこれからはこ
んな忘年会はできないと思いますが、電車の中
でのドンチャン騒ぎ、いい思い出です。

最後になりますが、カズ山本さんの研修会です。
実は、そのころお世話になっていた整骨院の先生
が近鉄の元選手でしたので、カズ山本さんのこと
をお話したら、快く開催前に来てくださること
になりました。近鉄の二軍時代の元同僚だったそう
です。お引き合わせしたら、カズ山本さんはたい
そう喜んでくださったことを覚えています。肝心
の研修会の方ですが、身振り手振りはうっすらと
覚えています、何の研修会だったかは残念ながら
思い出せません。

とりとめもなく、思い出話を書き綴ってしまし
たが、改めて卒船になるような年齢になったんだ
なと思うと感慨深いです。これからもずっと青年
部は続くと思いますが、私のように途中からフェ
ードアウトせずに、会員先生みなさんで青年部を
盛り立ててくださるようお願い申し上げます。



令和元年度 青年部活動だより

令和元年8月1日 ～令和2年7月31日

I 役員会開催関係

- R1. 8.29 「定期総会・意見交換会」第1回打合せ パンチャン 出席者 7 名

II 活 動 関 係

- R1. 9.13 「第24回定期総会・意見交換会」開催 道頓堀ホテル 出席者27名
- R1.11. 1 「なみせいだより」第27号 編集会議 道頓堀ホテル 出席者11名
- R1.11.15 「なみせいだより」第27号 最終校正 浪速支部事務局 出席者10名
- R1.12. 1 「なみせいだより」第27号 発刊
- R1.12. 2 「なみせいだより」第27号 発送準備 西本事務所 出席者 6 名
- R1.12.11 「冬季意見交換会」開催 道頓堀ホテル 出席者31名

※令和2年12月に開催予定であった「冬季意見交換会」は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりました。

* 編 集 後 記 *

昨年、青年部は西本新青年部長の下、新たな体制で活動が始まりました。「ONE TEAM”で青年部を推進しなくては」、と前号の編集後記に書きましたが、令和2年はコロナ禍に見舞われ、青年部の行事である“ファミリー参加レクリエーション”“青年部定期総会”は縮小・中止を余儀なくされてしまいました。そのような状況のなか、温故知新をテーマに今回の「なみせいだより」には、青年部の創成期を盛り上げた3人の元青年部長にお話を伺い、“特別企画 歴代青年部長に聞きました”を掲載させて頂きましたが、いかがでしたでしょうか。元青年部長の方々にはお忙しいにもかかわらず、お時間

を割いて頂き当時の思い出を語って頂きました、ありがとうございました。紙面の関係上すべてのお話を載せることができず、忸怩たる思いでいっぱいです。

来年はコロナ禍との共生の中、新たな青年部活動を模索しなければと思います、皆さんガンバリましょう！

(谷 祐司)

